

碧南市青少年育成市民会議だより

ふれあい

編集発行
 碧南市青少年育成市民会議
 碧南市源氏神明町4
 TEL <0566> 42-3511

2020年成人式のテーマは『歩（あゆみ）』

1月12日(日) 令和最初となる成人式を行いました。碧南市では、2022年の法令改正後も成人式は「二十歳を祝う会（仮称）」として20歳を対象に行うことに決めています。

今年のテーマは『歩（あゆみ）』です。その中には、今後の人生の中で挑戦し、物事を「なしとげる」強い意志が込められています。右の書は、碧南市在住の書家である森脇友理さんが、実行委員のそんな想いを表したものです。今年の実行委員の挑戦は「WINDING ROAD」のアカペラ演奏とピアノ、フルートの演奏。実行委員の強い想いと新成人の仲間へのこれからの人生に向けた新たな決意を呼びかける成人式となりました。



テーマ『歩（あゆみ）』に込めた想い

成人式実行委員長

榊原輝一

多くの方々のご協力とご指導のもと、成人式を終えることができましたこと、深く感謝申し上げます。

テーマ「歩」。そこには「挑戦」「成長」「感謝」の3つの想いを込めました。人生は挑戦の連続。その中で自分と向き合い成長を遂げる。そしてその成長を支えてくれたことに感謝する。これらが幾度となく繰り返され、今の私たちがあります。

新成人を迎えるみなさんに、これらを感じとって欲しいと思い、碧南市内の全中学校から集まった13人でこの式典を創りました。

これまで、新成人に限らずみなさんは、たくさんの方に挑戦してきたと思います。大小問わず、それらは全て自分の糧に、経験になったと思います。

時には挑戦しないこともあったと思います。それもまた立派な選択枝の一つです。無謀なことはむしろ避けるべきです。しかし、いつの間にか本当は出来ることすら挑戦しなくなってしまうませんか。いつからか失敗のリスクばかりを考え、なにも行動しなくなってしまうませんか。主観的に見るとそれはよく考えた上での結果かもしれませんが、客観的に見れば、出来ることに

もかかわらず挑まなかったと見なされます。自分の可能性を自分でなくすほどもったいないことはありません。失敗を恐れる人から、失敗を活かせる人に。考え方ひとつで自分の未来は大きく広がる。いつまでも成長し続ける。誰にだって、何歳になろうとも。

悪い意味で、「年齢だけ大人になったな。」と言われるように、自分のあるべき姿を改めて見つめ直す。そして変化の連続である人生に、自分の考えを持ちつつ、柔軟に対応して成長していきます。

自分の道は、自分で歩む。時に助けられながら、時に後ろに歩きながら、誰かの意志ではなく、自分の意志で。これからも、また一步、歩みを進めていきます。



第16回「親子キャッチ575」 最優秀作品と表彰式

青少年育成市民会議

「親子キャッチ575」の作品募集に、市内の小中学校、高等学校からたくさん応募をいただき、4,069点の作品が集まりました。そして、表彰式が令和元年11月9日、碧南市文化会館で行われ、最優秀作品、優秀作品の合計30点が表彰されました。

作品のテーマを、「家族・地域の絆」「命の大切さ」「人への思いやり」としました。感心したり、感動したり、うれしい気持ちになったりする作品が多く、親子の絆の強さを感じるもの、温かい家族の様子が浮かんでくるものもたくさんありました。



— 第16回 親子キャッチ575最優秀作品 —

わかってる
母のようごぶ いいかたを
大浜小学校五年 新澤 樹琉
母

末っ子の
甘え上手に だまされる

お父さん
素直になれない いつからか
中央小学校四年 岡田奈都子
父

待ってるよ
心のとびら 開くまで

気まずくて
心の中で いってきます
棚尾小学校三年 三矢 嵐士
母

顔見れば
いってきますと 書いてある

まくらもち
おやすみなさい おかあさん
棚尾小学校二年 永井野々香
母

寝顔見て
怒った事を 反省す

やすんでて
ぼくがやるから ふろそつじ
日進小学校一年 細井 柊斗
母

とっせんの
むすこのことは なみだでた

試合前
背を押す視線 勇気わく
碧南工業高校一年 稲垣 政宗
母

目を合わせ
勝てた喜び わかちあう

うれしいな
服も靴まで シェアできる
南 中学校三年 神谷 沙奈
母

エコだけど
若づくりに 限界が

反抗期
素直になれず 過ごす日々
南 中学校二年 杉浦 典龍
父

思い出す
俺の時より まだマシだ

来ないでと
言っけど探す 参観日
新川中学校一年 加藤 心月
母

目が合って
喜ぶ顔は 見逃さない

買い物に
つれていかれて にもつもち
新川小学校六年 松坂 空
母

荷物持つ
後ろ姿が たくましい

おやじの会

おやじの会の活動のねらいは、「父親同士の交流を図って連帯感を高めること」「子育てを母親任せにしないで、父親も家庭教育に関心をもつこと」「子どもの理解を深め、子どもからの信頼を得ること」です。そして、それぞれ親子参加型のイベントを工夫し実践することで、地域ぐるみでの子育て、親育ての一助を担っています。

きらきらウォーク パトロール活動

12月14日(土)きらきらウォークが開催され、今年もたくさんの市民の方が参加されました。

おやじの会では、子どもたちの安心安全のため今年も久沓公園から中央駅まで、パトロール活動を行いました。



中央 七輪バーベキュー&昔遊び

中央のおやじの会も結成して一年が過ぎました。まだまだ手探り状態で課題が山盛りですが、たくさんの行事が行えました。

10月6日(日)初行事として、七輪バーベキューと昔遊びを行いました。来年はもっと人数を増やしていきたいです。



大浜 地引網体験

10月5日(土)親子参加地引網体験を行いました。今年は、子ども会とコラボして参加者を募集し80人を超える子どもたちが参加しました。とれた魚はその場で刺身として食べました。焼き肉、焼きそばとおやじたちが腕を振りました。



西端 いも掘り体験

初めていも掘り体験に挑戦しました。5月にサツマイモの苗を植え、10月27日(日)に収穫しました。初めての体験であり、子どもたちが自ら植え育てたイモの収穫ということで、大いに盛り上がりました。



棚尾 もちつき大会

12月1日(日)もちつき大会を行いました。今年も110人とたくさんの親子が参加しました。初めてもちつきを経験する子も多い中、17うすつきました。

親子で参加された方も多く、その場でつくたてのお餅をたくさんいただきました。



日進 射的ゲーム

12月1日(日)公民館まつりで、射的ゲームや水風船つりを行いました。たくさん子どもたちが参加し、みな心の底から楽しめているようでした。



新川 ドッジボール練習会

夏季、冬季の二回、主審、副審の審判員としてドッジボールの練習のお手伝いをしています。

子どもたちは、試合を通してルールを学び、大会に向けた練習を頑張っています。



鷺塚 ふれあいレク

11月3日(日)青少年育成推進員とともにふれあいレクを行いました。参加者162人、中ボラ59人。その中で中ボラとともに射的や風船飛ばしを行いました。



背中教える父、母は…

碧南保護区保護司会碧南支部
永坂直義

大阪府富田林市の楠妣庵（なんびあん）観音寺には楠木正行・久子の母子像があります。

私が初めて訪れたのは、末娘がその近くの大学に入学した頃で、今から10年程前です。

正行は四条畷の戦いで足利幕府の大軍に敗れ、自害します。左目のほか数か所に矢傷を負い、手勢が百余人に減るまで奮戦した後、弟の正時と刺し違えます。

父の正成は湊川の戦で多くの手傷を負い、手勢が70余人に減るまで奮戦した後、弟の正季（まさすえ）と刺し違えました。

正行は、残存する書から感じる教養といい、天皇のために最後まで戦い抜く忠誠心といい、父の正成そっくりで、父親と心をつなげて生きていた人だと思えます。

劣勢で大軍を向こうに回し、敵将をあと一歩まで追い詰める奮闘ぶりだったという正成と正行の最後の戦いは、本当にそっくりです。

背中生き様を教える父親と言葉でその教えを補う母親。楠木家の絆は、現代においても理想的な家庭像の一つに思えるのです。

長女が嫁いだ神戸には、楠木正成像を祀る湊川神社があります。地元では親しみを込めて「楠公（なんこう）さん」と呼ばれているそうです。



大人が変われば子どもも変わる

碧南少年サッカー連盟
建部 誠

大人が変わるってことは、なかなかできることではないと思います。長年の経験や考えで出してきた答えを変えるってことです。

私は10年程前からサッカー少年団のコーチをやらせてもらっています。始めた頃は子どもたちに教えるのではなく、やらせていました。

試合になると「そうではなくこうしろ」とか「そっちじゃないだろう」とかできないことばかりを指摘していました。しかし、いろいろなチームのコーチの話や講習会などを聞いて少しずつ考え方が変わってきました。

自分が変われば相手が変わる

碧南工業高校PTA会長
三品尚巳

私は少し前より【自分ルール】というものを作って実践しています。それはある雑誌で「相手を変えることはできない、変えられるのは自分だけ」という言葉を見かけ、『相手を変えるためにはまず自分を変える』ことが重要だと考えたからです。

それまでの私は、悪いことが分かっているが自分のことを棚に上げて、子どもの悪いところばかりを見ていたように思います。そして、怒っては自己嫌悪に陥っていました。

そんな私を子どもたちはどう見ていたのでしょうか。いつも同じことを繰り返し、変わらないのは子どもではなく私に原因があるのだと気づきました。

【私の自分ルール】

- ①いつも笑顔
- ②「ごめんなさい」「すみません」は「ありがとう」に置き換える
- ③物事に対し絶対にこうあるべきと決めつけない
- ④起きている事は全て経緯・理由があると考え
- ⑤自分は運がいい、いつも前向きに考える

この自分ルールを実践してから3か月が経ちました。子ども達を見て、いま何が変わったか分かりません。でも私の子どもたちへの接し方は変わっていると実感しています。

今じゃなくてもいい、これが子ども、家族、私の周囲の人たちに良い形でゆっくり伝染してくれるといいなと思っています。

上手にできた時とできなかった時の違いを考えてみました。

上手にできない時は、自分の伝えたことが理解できていない時で、自分の伝え方が悪いと考えるようになります。そこで、できたことを褒めるようにし、できなかったことは理解できるよう伝えなおすようにしました。

そうすることで、上手にできなかった時に子どもたちは自分で考えて答えを出したり、周りの子どもが教えたりするようになりました。

今は、試合の中では子どもたちが話し合って試合を組み立てるようになっています。

子どもたちを通して私もいろいろと考え方を変えることができたと思います。

大人も子どもも一人の人間、考えていることもそれぞれ違って当たり前です。これからも子ども達と一緒に成長し、変わっていきたいと思います。